

## 交通死亡事故ゼロ1000日達成



↑ 賞状を手渡す岸相双地方振興局長(左)と遠藤町長(右)

1月18日(火)、県南相馬合同庁舎において交通死亡事故ゼロ1000日達成表彰伝達式が行われました。町は交通事故による死者ゼロ1000日を達成し、福島県交通対策協議会長表彰を受け、岸 孝志相双地方振興局長が広野町交通対策協議会長を務める遠藤町長に表彰状を手渡しました。

遠藤町長は、「町民のみなんさんの理解と協力があって達成することができた。今後も引き続き、関係機関と連携しながら交通安全の取り組みを続けていく」と語りました。

## 広野産ミカンを使って商品開発



↑ 開発した商品を報告するふたば未来学園中学校・高校の生徒のみなんさん

12月17日(金)、広野町のふたば未来学園中学・高校生が広野町役場を訪れ、探究活動の一環として広野町産のミカンを使用し、開発した商品を松本副町長に報告しました。

中学生が開発した商品は、スーパーを展開するマートと共同で行い、広野産ミカンをふんだんに使用した大福やゼリー、サンドイッチなどのスイーツです。

開発された商品は、広野町直売所やマート平尾子店などで販売され、商品開発に携わった生徒は、「このミカンの商品を通して、多くの人に町の魅力を知って欲しい」と話しました。

## 内堀知事と県町村会役員との意見交換会



↑ 内堀知事と意見交換をする遠藤会長

1月25日(火)、内堀雅雄知事と県町村会役員との意見交換会が福島市で開催されました。

県町村会長として出席した遠藤智町長は、「新型コロナウイルス感染症対策における市町村がしっかりとした接種計画を策定できるよう、具体的な配分スケジュールの早期提示、12歳未満への接種に係る効果や副反応に関する情報発信について引き続き国へ求めている」とあいさつをしました。

意見交換会には、遠藤会長をはじめ13人の町村長が参加し、デジタル変革や米価下落などの支援を求める意見が出されました。

## ふくしま学(楽)会を開催



↑ 第9回ふくしま学(楽)会に参加する遠藤町長

1月30日(日)、早稲田大学ふくしま未来創造センター主催の「第9回ふくしま学(楽)会」が開催されました。平成29年5月に早稲田大学ふくしま未来創造リサーチセンターを開所し、福島が抱える問題について考えるふくしま学(楽)会を定期的に開催しています。今回は、感染症対策のため参加者はオンラインで参加し、研究者、復興支援に取り組む団体の代表、学生、行政、専門家など約120人が「廃炉の先とこれからの対話の在り方」、「福島の経験を学び、語り継ぐ絆」をテーマに報告やパネルディスカッションを行い、町役場から遠藤町長がオンラインで参加しました。

## 消防団・婦人消防隊 出初め式



↑ 通常点検の様子

1月23日(日)、広野町総合グラウンドで令和4年広野町消防団・婦人消防隊出初め式を挙行し、団員らが防火の誓いを新たにしました。今回は、感染症対策のため駅前でのパレードやニッ沼総合公園での放水訓練は取りやめました。式では遠藤町長、秋田団長らが通常点検を行い、団員と隊員の服装を確認し、その後、遠藤町長が式辞、北郷議長が祝辞を述べました。また、勤続5年以上の団員と隊員2人に対して、町長から表彰が行われました。

## いわきFCへ広野産コシヒカリを贈呈



↑ いわきFC選手らに広野産コシヒカリを贈呈する根本教育長

町は、今季からサッカー J3 に参戦するいわきFCに特別栽培米コシヒカリ「ひろの米」180kgを贈呈しました。

贈呈式には、いわきFC 村主 博正監督、田中 勲太選手、宮本 英治選手(JFAアカデミー6期生)が出席し、根本修行教育長より特別栽培米コシヒカリ「ひろの米」が手渡されました。

広野町は、いわきFCのホームタウンの一つとなっており、いわきFCには昨年4月より広野町での活動を再開したJFAアカデミー福島の出身が在籍しております。

## 前人権擁護委員への法務大臣感謝状伝達式



↑ 感謝状を手渡された前人権擁護委員の根本賢仁さん(右から3人目)

1月20日(木)、前人権擁護委員への法務大臣感謝状伝達式が広野町役場全員協議会室で開催されました。

平成18年10月から令和3年12月まで5期15年3ヵ月の長期にわたり人権相談や小・中学校での人権教室など人権啓発活動にご尽力いただいた根本賢仁さんに福島地方法務局いわき支局長の梶内 勇作様より感謝状が手渡されました。

感謝状を贈呈された根本さんは、「今後も人権啓発活動に何らかの形で関わっていききたい」と挨拶を述べました。

## 広野町人・農地プラン検討委員会 委嘱状交付式



↑ 委嘱を受けた委員のみなんさん

1月20日(木)、広野町人・農地プラン検討委員会委嘱状交付式が広野町役場全員協議会室で開催され、町内の農業関係者15名に遠藤町長より委嘱状が手渡されました。委嘱状交付式に際し、遠藤町長は、「人・農地プランの実質化を図り、将来における広野町の農業を地域の皆さまならびに関係機関と連携し守っていききたい」と挨拶を述べました。広野町人・農地プランは、農業における高齢化、後継者不足、耕作放棄地などの増加などの、今後の地域における「人と農地の問題」を解決するために策定する計画となります。